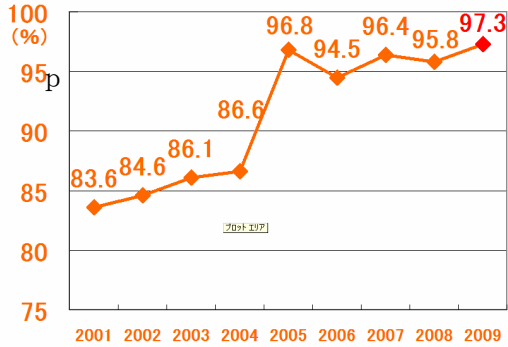
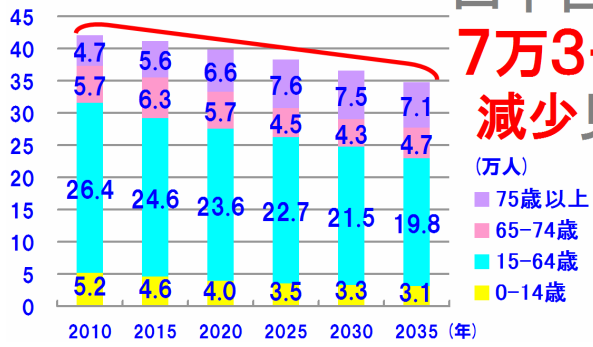


経常収支比率の推移



将来人口の推計



四半世紀で  
7万3千人  
減少見込

地域	割合
全国	81.6%
千葉県	100.0%
富山県	100.0%
愛知県	100.0%
東京都	96.0%
神奈川県	16.1%
大阪府	7.7%
三浦市	100.0%
横須賀市	0.0%
鎌倉市	0.0%
横浜市	0.0%
逗子市	0.0%
葉山町	0.0%

完全給食実施の割合

見直すべき事業名	削減幅
1)中央斎場の市民無料火葬事業	1.9億円
2)横須賀芸術劇場の芸術普及事業	1.5億円
3)住宅用太陽光発電システム設置費補助制度	0.1億円
4)一般電気事業者からの電力調達	1億円～
<b>削減可能額 計4.5億円～</b>	

中学校給食に必要な予算 約4.5億円

火葬事業の近隣自治体比較  
(十二歳以上)

自治体名	市民料金	市外料金	運営形態
横須賀市*1	0	16,600	公営
相模原市	0	45,000	公営
茅ヶ崎市	0	80,000	公営
平塚市	0	95,000	公営
川崎市	3,000	30,000	公営
三浦市	6,000	15,000	公営
藤沢市	10,000	80,000	公営
横浜市	12,000	50,000	公営
逗葉鎌倉S社*2	40,000	50,000	民営
横浜市N社*3	57,000	57,000	民営

\*1:横須賀市は24年度より市外料金を¥50,000に値上げ予定  
\*2:逗子市、葉山町、鎌倉市から建設時等に補助金出ている  
\*3:横浜市民は、¥16,000の補助を受けられる。¥95,000の窯もある

芸術普及事業の関連費用	削減幅
芸術普及事業の 収支の差の赤字	3727 万円
事業部職員12名の人件費 (1人あたり613万円)	7362 万円
劇場運営費の広報費から 広告料収入を除いた額	4371 万円
<b>削減可能額 計1億5460万円</b>	

太陽光発電電力の買取価格(1kWhあたり)

区分	H21当初	H23現在	今後
一般住宅	48円	42円	30円台後半?
	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定
非住宅 公共施設や 民間ビル等	24円	40円	?
	余剰電力 10年固定	余剰電力 10年固定	全量買取 15~20年